

からだの変化を捉えて、健やかな未来へ。

日常の生体・行動データを可視化し、未病の早期検知と予防へ

産総研ミッション

生体分子から身体機能までを捉え、
健康長寿社会の課題を解決する。

100歳を健康に生きるための技術



イチオン研究！ シューズ装着型センサと歩行から捉える健康のサイン

歩行 × シューズ装着型センサ



歩行中のセンサ情報を用いて算出

歩行パラメータ

関連の解明

筋力などの健康指標

Sci. Rep. 15, 29375 (2025)
Sci. Rep. 16, 20447 (2026)



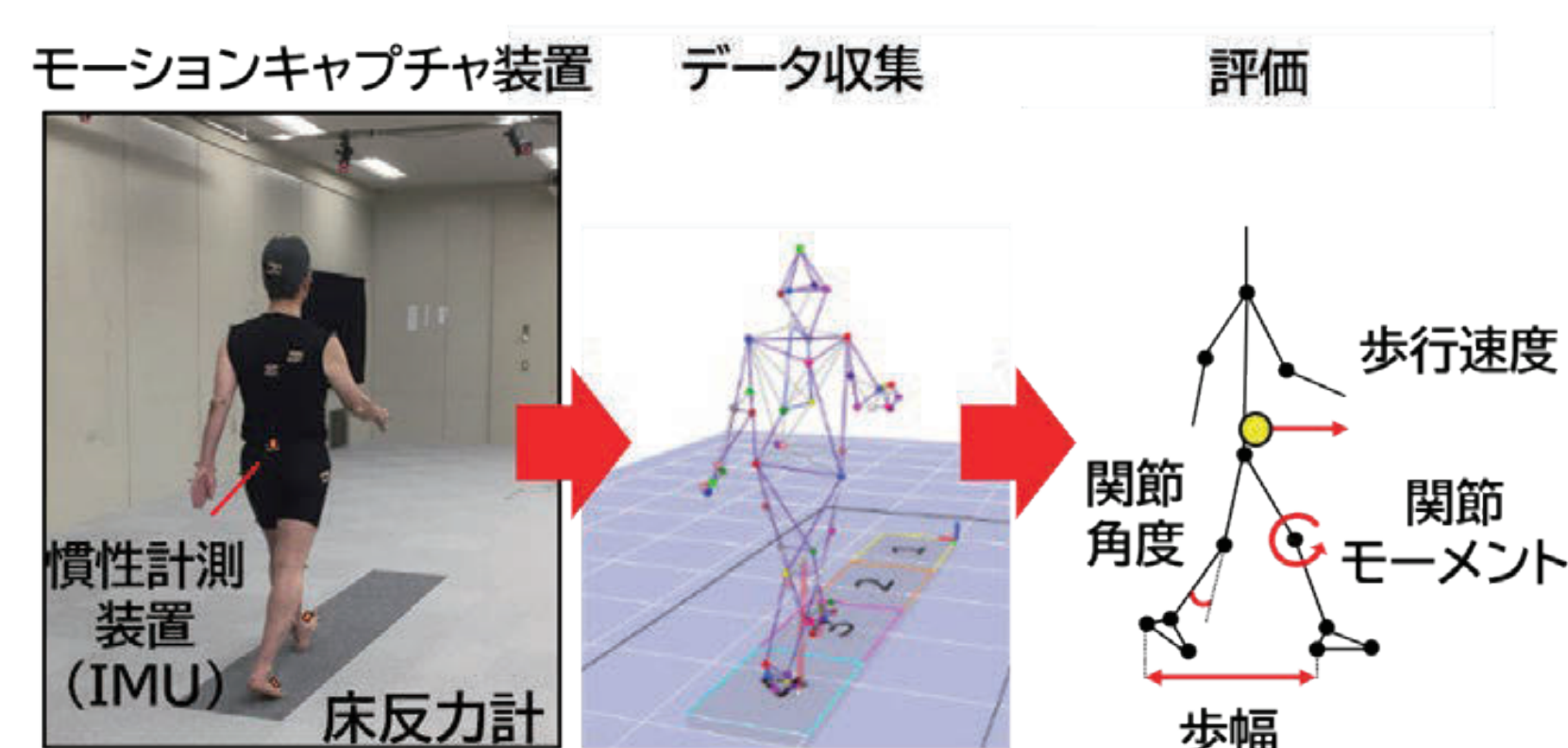
稲井 卓真
(セルフケア実装研究センター)

様々な小型センサ（インソールセンサ、慣性計測センサなど）を用いた歩行計測を行い、健康指標との関連の解明に着手している。この知見を踏まえ、誰でもどこでもいつでも健康指標を評価・把握が可能となり、健康寿命の延伸への貢献が期待できる。

関連技術紹介 健康の多様なサインを捉えるためのヘルスケア技術

高齢者の転倒リスクの評価と転倒予防

藤本 雅大、稲井卓真、土田和可子、工藤将馬（セルフケア実装研究センター）

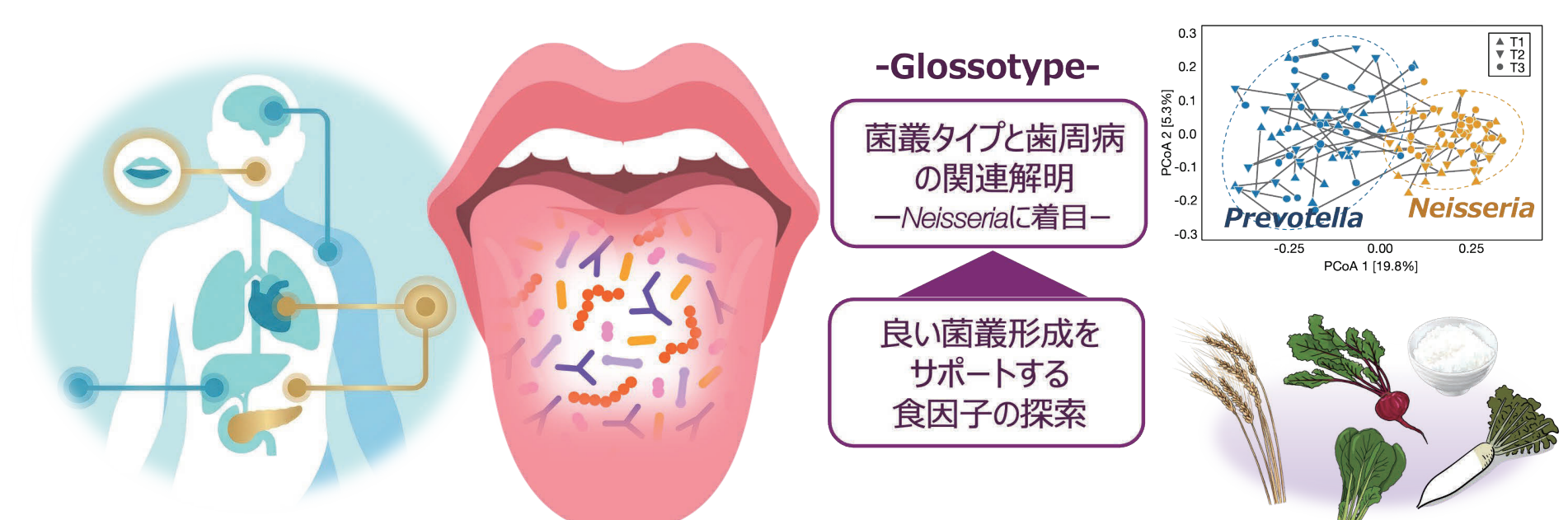


日常生活動作を各種センサで高精度に解析することで、転倒リスクを評価。膝サポーター等ヘルスケア製品の効果の検証を通じ、高齢者の転倒予防への応用が可能。

口腔ケア：口腔菌叢と健康の関連の解明

松本 真理子（健康医工学研究部門）

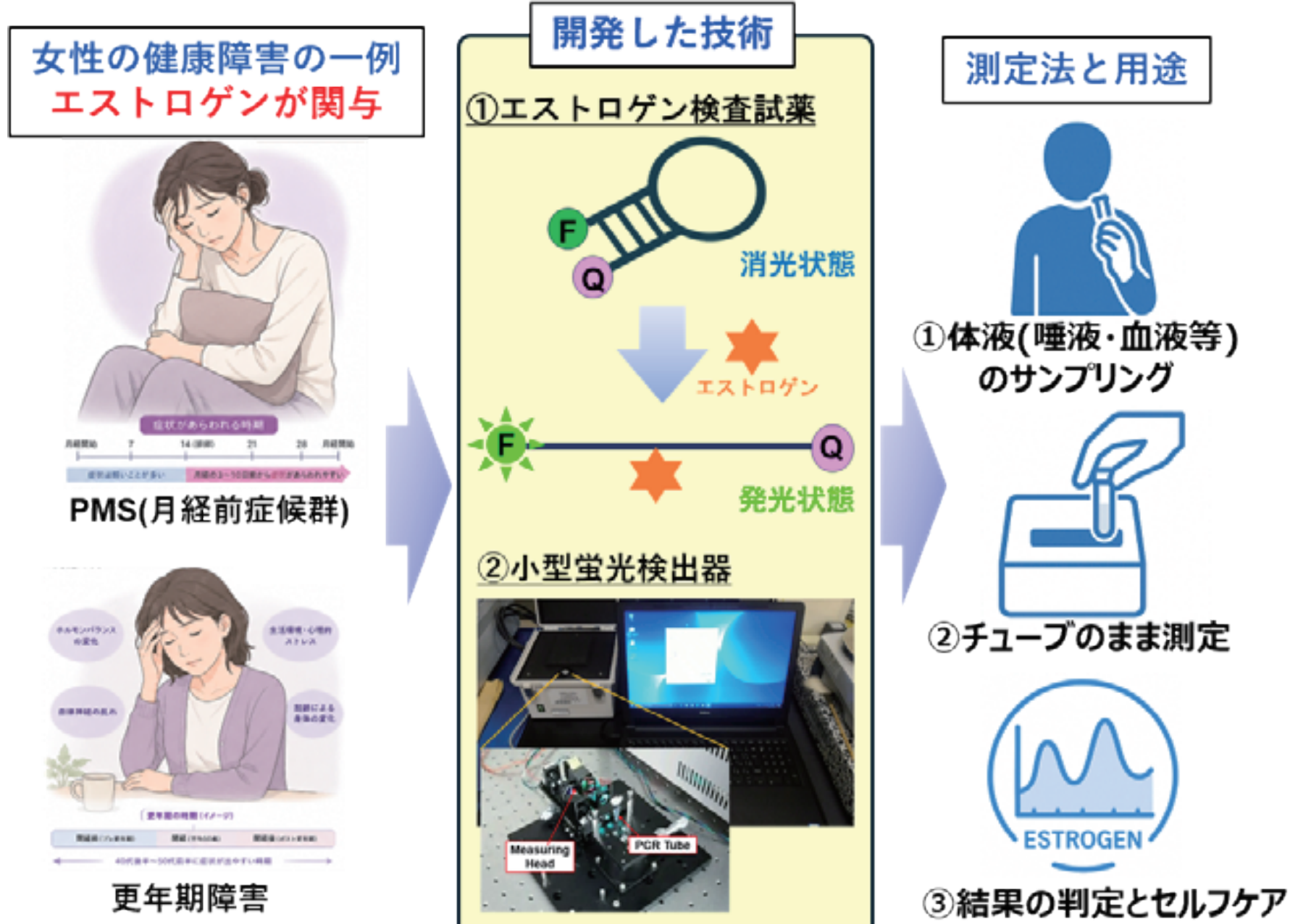
口腔菌叢と健康の関連についての研究
良い菌叢を育て バランスを整える



疾患発症の原因として考えられているディスバイオーシスを防ぎ、良い口腔菌叢を育て、整えることで、口の健康から全身の健康までアプローチする新たなヘルスケア戦略の確立を提案。

核酸アプタマーを用いた女性ホルモンの迅速検出

鈴木 祥夫（健康医工学研究部門）

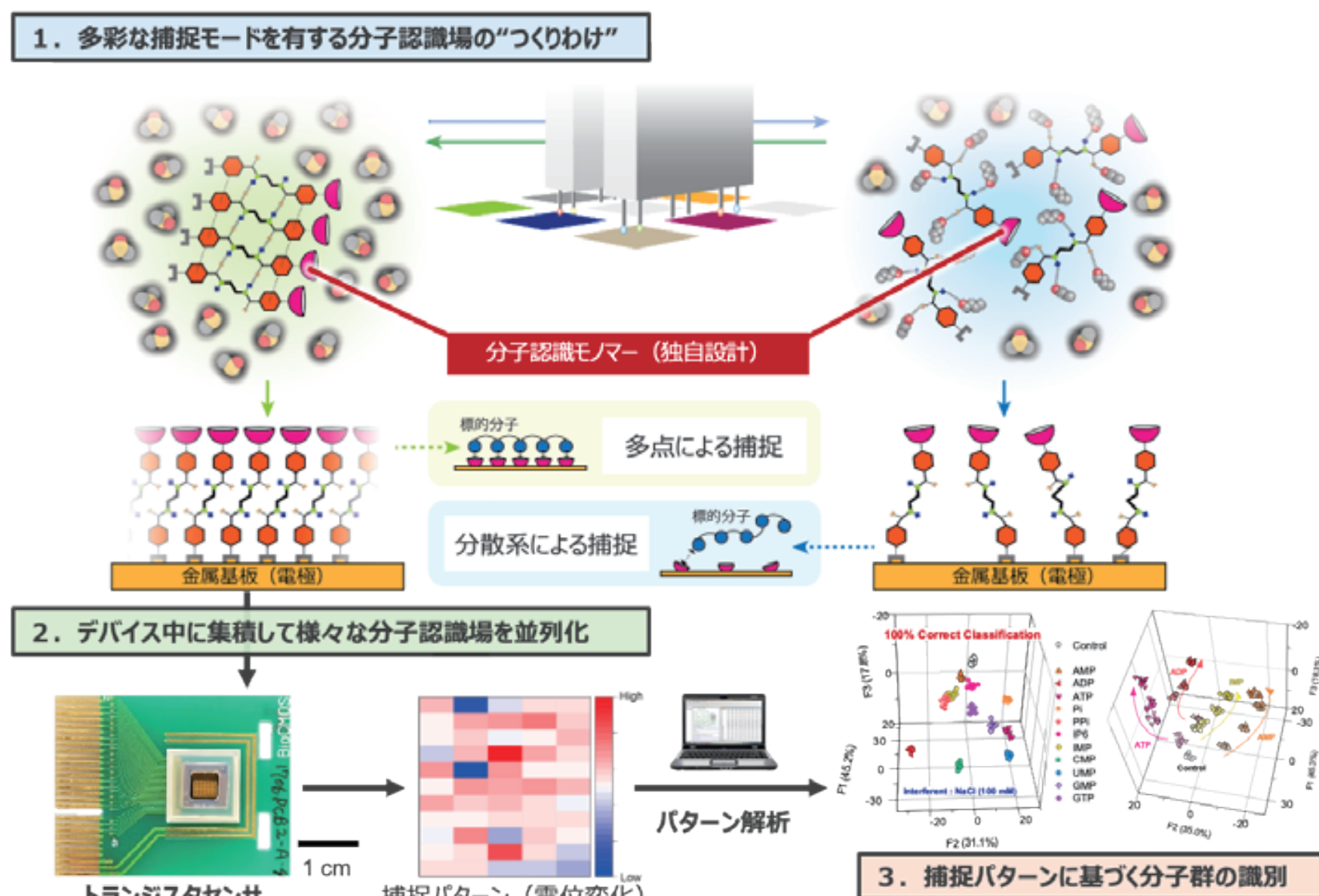


女性ホルモンを迅速・高感度に測定できる核酸アプタマー蛍光センサーと小型検出器を開発。フェムテックやヘルスケア機器への応用を目指す。

特開2026-080987

分子認識アレイによる健康状態の可視化

南木 創（健康医工学研究部門）



構造相同性の高い低～中分子量のバイオマーカー群を網羅的に分析することができるデバイスを開発。健康診断の日常化につながるようなヘルスケア技術としての応用が可能。

特願2025-076785, 特願2025-076786